

久里浜の学び舎



H30(2018).12.25

学校だより NO.12

横須賀市立久里浜小学校

校長 木屋哲人

2018年もいよいよ終わります。また、平成最後の年の瀬となります。今年一年の漢字一字は、『災』とのことですが、本校職員の今年の漢字一字で最多だったのは『変』でした。教職員にとって、「変化の激しい一年だった」という意味であると判断しています。

集団歯科指導



12月3日(月)～5日(水)、保健所の方が来校し、全校児童への歯科指導が行われました。

基本的には歯磨きの仕方を指導するもので、歯磨きをしたつもりでも、赤い染料によって、自分の磨き残しがはっきり見つかかり、子どもたちは鏡を見ながら、びっくりしていました。

ごとに分かれて、個人で跳んだり集団で跳んだりしました。



寒くなるとやはり、外に出るのが億劫になりがちです。全校児童が校庭に出て体を動かすということで、とても素晴らしい企画であると思います。

6年生が頑張った

12月7日(水)、児童ボール大会が行われ、久里浜小学校、明浜小学校、神明小学校の6年生が、各会場に分かれて、男女別でバスケットボール、サッカーの試合をしました。

親睦が目的の学級のチームによるゲームですから、上手な児童も、またそうでない児童もいます。しかし、正々堂々、精一杯に競技し応援をする姿に、本校6年生の立派な成長を見ることができました。

先生も勉強しています



学校で勉強しているのは、何も子どもたちばかりではありません。

12月11日(火)は、市内の先生方20名ほどが集まり、教育研究所主催の研修が行われました。5年3組の田中先生の授業を参観し、様々な観点から授業を検討しようとするものです。来校した先生方は、熱心に久里浜小学校の児童の様子を見て協議し、有意義な研修を行っていました。

冬はなわとび

縦割り班の活動の12月は、なわとびです。班



連絡帳は簡潔に

学校と家庭をつなぐ連絡帳ですが、連絡帳の取り違い等により個人情報に他へ流出することを防ぐ意味で、あくまで欠席連絡などの簡単な連絡にとどめるようお願いいたします。重要な案件は、直接、担任と話すなどしてください。

働き方改革に取組みます

いろいろな場面で見聞きする「働き方改革」という言葉ですが、本校に当てはめて考えるとき、なかなか進んでいない現状が見受けられます。

先生方の退勤時刻を見る限り、何人かの先生方は勤務時間以降、月 80 時間以上、仕事をしていることがわかりました（手当はありません）。

原因としては、成績などがPCで管理されるようになったことや、万が一の事故による情報流失を防ぐために、持ち帰り仕事をしなくなった先生方が増えたこと。また、授業時数増加により放課後の業務時間が切詰められたこと。学習指導要領の改訂により、打合せをしなければならない案件が増えたことなどが考えられます。

本校教職員の勤務時間は、8:20～16:50 です。重要なことは別ですが、18:00 以降の電話連絡は、なるべくご遠慮いただきたく、ご協力をお願いいたします。

また、登下校の出来事も含め、学校管理下外であることをご理解ください。

年末年始というと

思い出す説話があります。

大晦日の夜に身なりの汚い老人が訪ねてきて、泊めてほしいと言います。一件目では断られ、二軒目（貧しい家）では、精一杯のもてなしをしてもらいます。実は老人は年（歳）神様で、その後、断った家はすたれ、もてなした家は栄えました。という話です。この老人が、弘法大師であったり、その他、高僧や神、仙人になっていたり、様々なバリエーションがあるようです。

これらの話は、人から人へ語り継がれた物語ですが、文字としてこの形式の話が掲載されている最初のもので、おそらく『常陸国風土記』に掲載されている「富士と筑波」の話であろうと思われます。こんな内容です。

祖神（「おやがみ」・神様の祖先の神）様が、全国の神を巡っているときに、富士山に宿泊を願うと

断られ、筑波山では食事と宿泊のもてなしを得た。それからというもの、富士山は雪で人が登りにくく作物もとれない山になり、筑波山は一年中人々が登り飲食をする山になった。

という内容です。

筑波山は個人的にも大好きな山で、二度登りました（ケーブルカーで）。昔から歌垣で有名な山です。富士山は今では行列のできる山になっていますから、祖神様の怒りも、やっとおさまったということなのでしょう。

最近、驚いたことがあります。某飲料メーカーのCMで、似たストーリーののを見ました。店を追い出されたホームレスを思わせる老人に若者が清涼飲料水とパンを差し出すのですが、実は老人はサンタクロースだったといというものです。

どのような方がこのCMに携わったのかわかりませんが、クリスマスも年末年始も、誰かがちょっとだけ笑顔になれることを考えて過ごしたいと思います。

